

授業改善に取り組む先生を応援しています！

第6回 高知家タイピング選手権が始まります!!

令和6年11月11日（月）～12月13日（金）

第5回大会では、のべ15,585名のチャレンジがあり、各部門（教職員・保護者部門を除く）の上位10名、合計60名の児童・生徒に表彰状を贈呈しました。

第6回大会へのたくさんのチャレンジをお待ちしています!!

「高知家まなびばこ」の
トップページにアクセス!



タイピング選手権の取組を高知県教育委員会
YouTubeチャンネルで配信中



生活科・総合的な学習の時間 担当者会を行いました

生活科・総合的な学習の時間担当者会が、8月1日（中部会場）と8月20日（西部会場）に開催されました。（※東部会場は台風のため中止）

【講話より】

講師：嶋野道弘先生（元文部科学省主任視学官）

- 生活科の学びは幼児教育から連続している。教師はその学びをしっかりと受け止め、豊かな体験を通して、**児童の思いや願いを実現していく単元づくり**が重要。
- 「何でだろう？」という疑問や不思議を自ら見つけ出し、問いを持ち、解決すべきことをつかみ、解決に至る過程をたどれば、「なるほど、そうか!」という納得に行き着く。**「問い?」から発して「納得!」に導くことが重要。**

【実践発表より】

「探究的な学び推進事業」の各指定地域の推進担当教員からは、**探究学習のプロセスを図式化し可視化**できるようにしたり、生活科・総合的な学習の時間を通して、**小中9年間で身につけさせたい力を各校種間で共有**したりするなど、具体的な取組発表がありました。

参加者の声

実践発表では、地域との繋がりや小中と繋いでカリキュラムやつけたい力を共有しており、大変参考になった。

地域の人・もの・ことに触れ、課題解決に向けて活動できるようにするための手立てが組織的、計画的であった。

総合的な学習の時間に係る計画の基本的な考え方や具体例、学習指導及び総合的な学習の時間を推進するための体制づくり等について理解を深めることができた。

課題設定の段階で、より児童に興味を持って進めていけるようにしていくことがとても大事であり、その方法も一人一人違ってくるということを改めて実感することができた。

探究学習の図式化



「探究的な学びの推進事業」の各指定地域が、以下のとおり学校公開を行います。生活科・総合的な学習の時間の実践の具体を知りたい方は是非ご参加ください。

11/13（水）大月小・大月中（大月町）

1/22（水）芸西小・芸西中（芸西村）

2/3（月）中央小・東津野中（津野町）

※全国教員研修プラットフォームPlantからお申込みください。

